

2024年度 授業改善推進プラン(全体計画)

学校経営方針(学力向上に関わる要点)
<ul style="list-style-type: none"> ・Google Workspace を活用し、批判的思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力等の「21世紀型スキル」を習得させる工夫。 ・ICTを有効に活用した授業の工夫。 ・相互啓発のある活気に満ちた授業の工夫。 ・徹底して基礎基本を身につける指導の工夫。 ・プレゼン能力を磨かせる指導の工夫。

授業改善の重点
<ul style="list-style-type: none"> ・Chromebook、書画カメラ、ビデオカメラ、プロジェクターなどICT機器やGoogle Formsを授業の内外で活用し、指導方法の工夫や改善を通して学習意欲及び学力の向上を図る。 ・発表や討論など深い言語活動を推進し、問題解決的な学習展開を意識する中で、「基礎的・基本的な知識・技能」を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成し、学習に対する主体性を身に付けさせる。 ・習得、活用及び探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた学びの実現、及び他者との協働や情報との相互作用を通して自らの考えを深める主体的・対話的な学びの実現習得を目指した学習活動を行う。 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の方法を工夫し、教科の特性に応じた言語活動を充実させる。

各教科の指導の重点	国語科	美術科	総合的な学習の時間の指導の重点	特別の教科 道徳の指導の重点
各教科の指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> ○「文章読解力・文章作成力・語彙力」の育成を図るために、教科の特性に応じた言語活動を充実させる。 ○学習の目的を明確にしたワークシートや副教材等の活用を通して、基礎的な読解力・語彙力・漢字力を身に付けさせる。 ○ICT機器を活用したプレゼンを行い、表現力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の目標や流れを生徒がいつでも見られるようにし、生徒が見通しをもって学習に取り組めるようにする。 ○ICT機器を活用し、資料収集、意見共有を行わせることにより、主体的で対話的な学習につなげる。 ○鑑賞活動や相互の作品の意見交換を通じ、言語活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良、京都、東京など日本を支えている都市の歴史や伝統文化、食文化、労働などについて調査・研究・発表を行い、自己の将来の生き方について主体的に考える能力や態度を養う。 ・自ら課題を見つけ、「調べる」「まとめる」「発表する」など体験的・探求的な学習を充実させ、ICT機器を活用しながらプレゼン能力を高める指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その時間の指導のねらいや重点が道徳的心情・道徳的判断力・道徳的態度のいずれの側面にあるのかを踏まえ、授業の意図及び視点(道徳的な価値観の理解、多面的・多角的な考え、道徳的価値を自分の生き方に結びつけた考え)を明確にする。 ・道徳の実践力を高める授業のあり方、評価方法に対する理解を深め、工夫する。
	社会科	保健体育科		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器を活用した授業を通して、生徒の関心・意欲を高めさせる。また生徒自身がICT機器を活用した調べ学習を通して、考える力やプレゼン能力の育成を図る。 ○本時のめあてを明示し言葉の意味を解説することにより、基礎的な内容を理解させる。また、小テストを実施することにより、基礎学力の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業導入時における補強運動の工夫により、体力の向上を図る。 ○学習カードの活用と単元テストでの問題の工夫により、種目の関心を高め、知識の定着を図る。 ○ICT機器の活用により、積極的に自己の課題改善に取り組む態度の育成を図る。 ○アクティブラーニングを取り入れることにより、思考力・判断力を高める。 		
	数学科	技術・家庭科		
	<ul style="list-style-type: none"> ○授業のめあて、目標を毎時間提示し、生徒に学習内容の見通しをもたせる。 ○ICT機器を授業に活用し、課題を視覚的にとらえ、生徒が理解しやすいような提示方法を工夫することにより、数学的な見方や考え方の伸長を図る。また、話し合い活動や発表を活性化させる。 ○毎時間、授業内容を振り返らせ、学習内容の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業のめあて、目標を毎時間提示し、生徒に学習内容の見通しをもたせる。 ○ICT機器を活用し、作業の手順などについてを視覚的に理解させる。 ○動画やアニメーション利用して、機械や道具の仕組み等の知識を深めさせる。 ○実習を通して原理や手順を理解させることにより探究的な学習につなげ、主体的に考える力を育てる。 		
	理科	外国語科		
<ul style="list-style-type: none"> ○授業の始めに目標を提示し、見通しをもたせるとともに、授業の終わりに振り返りを行い、学習内容の深い理解につなげる。 ○実験・観察が不可能な場合、ICT機器を用いて動画を見せたり、原理の説明したりする。 ○実験や観察結果のまとめ、発表にICT機器を活用することにより、自然における事物・現象を科学的に思考する力や言語活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教科書、ICT機器を用いた導入と活動で生徒の学習意欲と思考力の向上を図る。 ○スピーチ、ロールプレイングを主としたパフォーマンステストを行い、主体性と表現力の育成を図る。 ○ワークシートやアプリケーションツールを用いて学習内容の振り返りと反復練習を行うことにより、基礎基本の定着を図る。 			
音楽科				
<ul style="list-style-type: none"> ○授業の始めに目標や活動内容を説明し、生徒が見通しをもって学習に取り組めるようにする。 ○ICT機器を活用して生徒が視覚的に学ぶことができる授業展開を工夫する。 ○表現活動について、学習を振り返る時間を設定し、「できたこと」や「課題」を考えさせ、次の授業に生かせるようにする。 				
特別活動の指導の重点			<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動、生徒会活動、学校行事等の集団的活動を通して規範教育を推進し、リーダーを育成する中で、自主性と協調性を育み、生徒会活動・委員会活動等の活性化を図る。また、生徒と教師、生徒同士のふれあいを通して、社会性を身に付けた感性豊かな生徒集団の育成を図る。 	

ICT機器の活用	見通しをもたせる導入	振り返りの設定
<ul style="list-style-type: none"> ・Chromebook、書画カメラ、ビデオカメラ、プロジェクターなどICT機器やGoogle Formsを授業の内外で活用し、指導方法の工夫や改善を通して学習意欲及び学力の向上を図る。 ・Chromebook等を活用し、共同編集作業に取り組みさせる。 ・Google Formsやスライドを使って、学習のまとめや発表に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに、何を学ぶか、どのように学ぶか等を説明し、生徒自身に学習の見通しをもたせる。 ・授業ごとに学習の流れやめあてを、黒板やプロジェクター等で提示し、学習に向かう意欲をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや学習内容を振り返らせる時間を設定し、記録、話し合い、発表することを通して、学習の定着を図る。 ・本時の学習を自己評価させ、「わかったこと」「わからなかったこと」「次回につなげたいこと」を確認させ、次の授業に生かせるようにする。 ・ワークシートやGoogle Formsで、振り返りと反復練習を行い、学習内容を定着させる。
本校の授業改善に向けて		

各校の授業改善に向けて3点、設定する。
なお主な視点として授業をデザインする8つの取組をもと主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を行う。